

ATAMACADEMY
基礎課題

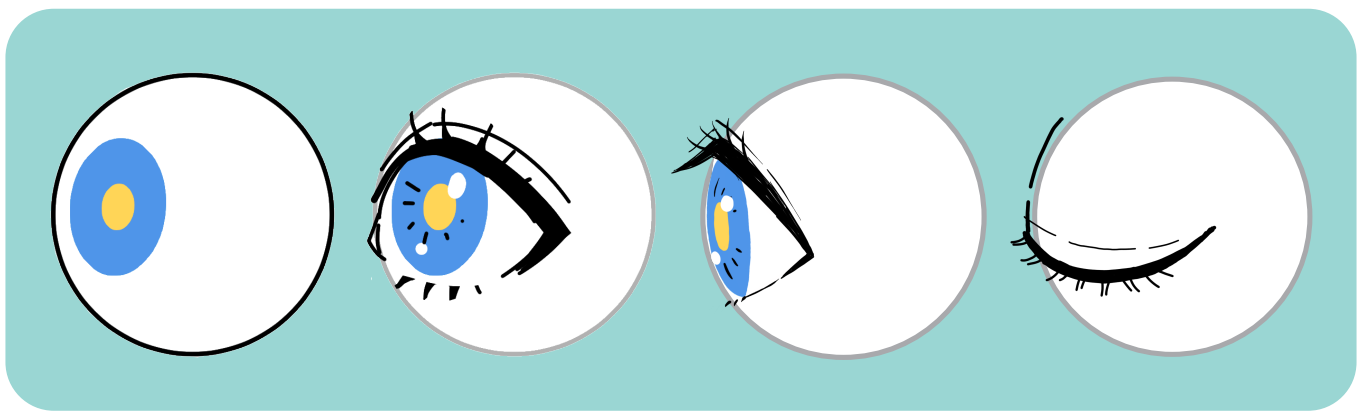
人体基礎・顔

目



■目の形を考える

目の形は「まんまる」です。白い球体の中に黒目があって、その一部がひふから飛び出るように見えています。なので**目を描く時は「上まぶた」と「下まぶた」を意識**してみてください。目をとじる時は「上まぶた」がおります。また、まぶたの位置によって目の形が決まります。



■目について

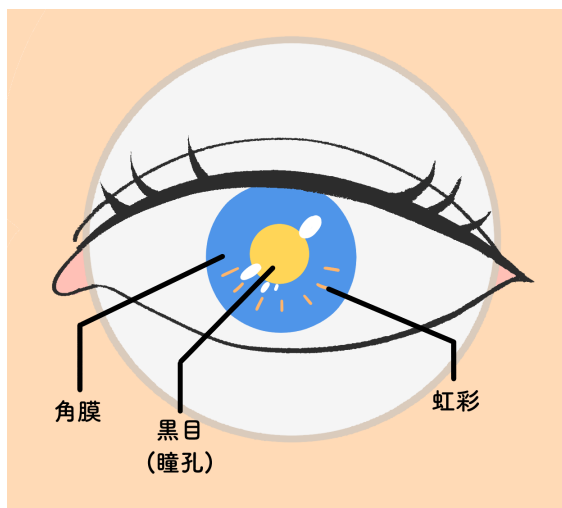
目にはいくつもの細かい機能がそなわっています。それぞれの部分の役割を理解してイラストに役立ててみてね。

角膜（かくまく）

「透明」で「レンズ」の役割をもち、光の取り入れ口です。虹彩や瞳孔は「角膜」より奥にあります。

虹彩（こうさい）

カメラのしぼりのように、ピントを合わせる役割があります。「虹彩」は多くの日本人は茶系で、外国人は青色や緑色、灰色であったりします。



瞳孔（どうこう）

「黒目」と呼ばれる部分。猫が暗い場所にいると黒目が大きくなって、明るいところにいると黒目が縦に小さくなります。実は人間も同じことをしています。

ただ、それは黒目が大きくなったり小さくなっているわけではなく、「虹彩」が伸び縮みをして、取り込む光の調整を行なっているのです。

■男女の描き分け

眼球は男性も女性も、子どもと大人もみんな同じ「まん丸」です。なので、まぶたなどで「とくちょう」を足すことで、男女の描き分けを行います。また、より強調することでキャラクターとしての「個性」を出すことができます。



女性の「かわいらしい目」を描きたい場合、白目の部分を少なめにして、まつ毛を多くすると女性らしさを出すことができます。

男性の目は、白目の部分を多くして、目じりをするどく尖らせることで、かっこよさを強調できます。



するどい男性的な目を女性に描くことでかっこいい女性を演出することもできます。目のこうぞうはみんな同じなので、そうしょく（まつ毛や白目の大きさ、目じりや目頭の描き方）を工夫することで男性、女性の描き方に幅が出せます。

■目元で出すキャラクターの個性

性別による目の描き分けができれば、今度はさらに細かいとくちょうを足してみよう。より一層キャラクターに個性が出て、みりよく的に見せることができます。

吊り目



吊り目は目頭より高いところに、目じりがあります。

「吊り目」にすることで少し気の強そうな意志の強い子、スタイリッシュでかっこいい子になります。

垂れ目



垂れ目は目頭より低いところに目じりがあります。

「垂れ目」は柔らかく優しい子、もしくは優しく少しなぞめいた子、のような印象を作ることができます。

■目元で出すキャラクターの個性

“白目と黒目”を描くことで「人」であることを表現しています。ですので、白目を無くすことで、「人間ではない」存在を描くこともできます。



「白目」に当たる部分まで色をつける。
擬人化などでモチーフの生物がある時は、
その生物の「目」を観察・応用すること
もオススメです。



ヤギ



ヘビ



■まつ毛

まつ毛を描く位置でも個性を出すことができます。

「下まつ毛だけ描く」や、「目じりに一本だけ太いまつ毛を描く」など「とくちょう」を作ることにより、個性がきわ立つキャラクターデザインができます。

下まつ毛にポイント



目じりにポイント



まつ毛は“女性らしさ”を強調するアイテムとしてよく使われます。普段は強気な女性キャラクターが悲しくなっている時にまつ毛を増やして描くと、一気に気の弱そうな表情になる。というように、まつ毛はその人の性格をあらわす重要なポイントにもなるので、ぜひ色々試してみてください。

ワークシートでは、「光」を足したり、色を変えたり。

「こんな目はどうだろう？」といろいろためしてみてください。

慣れてきたら、新しい紙に色々な「目」を練習してみてくださいね！